

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 大
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績 (平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	173,046	3.0	10,748	5.3	10,879	5.2	5,375	△3.9
23年3月期第3四半期	167,986	2.8	10,211	△7.8	10,344	△7.6	5,593	△4.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	180.49	—
23年3月期第3四半期	187.81	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	201,344	112,264	55.8	3,769.25
23年3月期	191,209	107,930	56.4	3,623.76

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 112,264百万円 23年3月期 107,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
24年3月期	—	17.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	3.5	12,400	7.5	12,600	7.3	6,700	5.8	224.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、4 ページ「サマリー情報（その他）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期 3 Q	29,784,400株	23年3月期	29,784,400株
② 期末自己株式数	24年3月期 3 Q	257株	23年3月期	257株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期 3 Q	29,784,143株	23年3月期 3 Q	29,784,167株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に対する四半期財務諸表のレビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3 ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9
5. 補足情報	9
(1) 商品部門別販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び欧米経済の減速等による世界経済の先行き懸念により、依然として景気回復への不透明感が強まっております。また、株価の下落、急速な円高、失業率の悪化、雇用情勢の低迷など経済環境も厳しい状況で推移しております。

家具・ホームセンター業界におきましても、このような不況下、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、店舗におけるお客様志向の徹底、お客様のニーズにあった商品政策の強化を継続してまいりました。加えて売上高の増加を目指し、「資材・DIY・園芸用品」、「生活用品」、「家具・ホームファッション用品」の3本柱の強化及び差別化も強力に推進してまいりました。さらには、経営基盤の充実のために積極的な店舗展開に取り組みました。福岡県、熊本県、愛知県に各2店舗、宮崎県、岡山県、鳥取県、京都府、和歌山県、滋賀県、三重県、静岡県に各1店舗の計14店舗を新規出店しました。また業務の効率化のため1店舗を閉店しました。その結果、当第3四半期累計期間末での店舗数は、25府県にわたり296店舗となりました。

その結果、当第3四半期累計期間における売上高は、1,730億46百万円（前年同期比3.0%増）となりました。また、売上総利益は継続した値入改善に取り組み、562億69百万円（前年同期比3.8%増）、売上総利益率は前年同期と比べ0.2ポイント改善し32.5%となりました。また、販売費及び一般管理費につきましては、新規店舗の開設費用等もあり455億21百万円（前年同期比3.4%増）、売上高に対する販売管理費比率は前年同期と比べ0.1ポイント上昇の26.3%となりました。この結果、営業利益107億48百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益108億79百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

なお、平成23年12月2日に「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率が変更となり、当第3四半期累計期間に費用計上された法人税等の金額が3億89百万円増加いたしました。その結果、四半期純利益は、53億75百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候の影響を受けやすい商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は648億49百万円（前年同期比4.0%増）、売上総利益219億53百万円（前年同期比4.8%増）、売上総利益率は33.9%となっております。

「生活用品」は、天候や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第3四半期累計期間は、売上高は504億91百万円（前年同期比1.1%増）、売上総利益132億79百万円（前年同期比0.2%増）、売上総利益率は26.3%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は411億75百万円（前年同期比6.7%増）、売上総利益165億1百万円（前年同期比7.2%増）、売上総利益率は40.1%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第3四半期累計期間は、売上高は165億29百万円（前年同期

比3.2%減)、売上総利益は45億35百万円(前年同期比1.9%減)、売上総利益率27.4%となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の資産合計は、2,013億44百万円となり、前事業年度末と比較して101億34百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、882億22百万円(前事業年度末比68億43百万円増)となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加(前事業年度末比33億84百万円増)と商品の増加(前事業年度末比33億8百万円増)などによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,131億21百万円(前事業年度末比32億90百万円増)となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加(前事業年度末比37億54百万円増)などによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、766億40百万円(前事業年度末比67億51百万円増)となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加(前事業年度末比57億10百万円増)などによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、124億39百万円(前事業年度末比9億50百万円減)となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少(前事業年度末比8億95百万円減)などによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は1,122億64百万円(前事業年度末比43億33百万円増)となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

現段階では、平成23年11月11日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,398	29,782
売掛金	2,080	2,200
商品	50,115	53,423
その他	2,805	2,837
貸倒引当金	△21	△22
流動資産合計	81,378	88,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,809	53,887
土地	39,241	41,410
建設仮勘定	1,206	520
その他(純額)	4,014	4,208
有形固定資産合計	96,272	100,027
無形固定資産	1,861	1,902
投資その他の資産	11,697	11,191
固定資産合計	109,830	113,121
資産合計	191,209	201,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,445	37,155
短期借入金	20,130	21,630
1年内返済予定の長期借入金	2,773	2,477
未払法人税等	2,913	2,358
未払金	3,346	4,352
設備関係支払手形	4,792	4,495
賞与引当金	1,018	519
役員賞与引当金	31	—
ポイント引当金	555	664
その他	2,881	2,987
流動負債合計	69,888	76,640
固定負債		
長期借入金	4,221	3,326
退職給付引当金	2,961	2,697
役員退職慰労引当金	1,307	1,355
資産除去債務	2,349	2,474
その他	2,549	2,585
固定負債合計	13,390	12,439
負債合計	83,278	89,079

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	100,164	104,497
自己株式	△0	△0
株主資本合計	107,925	112,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	5
評価・換算差額等合計	4	5
純資産合計	107,930	112,264
負債純資産合計	191,209	201,344

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	167,986	173,046
売上原価	113,768	116,776
売上総利益	54,217	56,269
販売費及び一般管理費	44,006	45,521
営業利益	10,211	10,748
営業外収益		
受取利息	34	35
受取配当金	6	7
受取手数料	177	172
受取家賃	171	173
その他	84	103
営業外収益合計	474	492
営業外費用		
支払利息	228	200
不動産賃貸原価	75	101
その他	37	59
営業外費用合計	341	361
経常利益	10,344	10,879
特別利益		
固定資産売却益	1	1
抱合せ株式消滅差益	750	—
貸倒引当金戻入額	0	—
資産除去債務取崩差額	—	24
その他	0	—
特別利益合計	752	26
特別損失		
投資有価証券評価損	46	11
固定資産除却損	14	1
減損損失	492	177
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	748	—
特別損失合計	1,301	189
税引前四半期純利益	9,796	10,716
法人税等	4,202	5,340
四半期純利益	5,593	5,375

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	62,358	49,948	38,600	150,906	17,079	167,986	167,986
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	62,358	49,948	38,600	150,906	17,079	167,986	167,986
セグメント利益	20,946	13,257	15,389	49,592	4,624	54,217	54,217

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損 益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上 高	64,849	50,491	41,175	156,517	16,529	173,046	173,046
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	64,849	50,491	41,175	156,517	16,529	173,046	173,046
セグメント利益	21,953	13,279	16,501	51,734	4,535	56,269	56,269

(注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日) (至 平成22年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日) (至 平成23年12月31日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	62,358	37.1	64,849	37.5	104.0
生活用品	49,948	29.7	50,491	29.2	101.1
家具・ホームファッション用品	38,600	23.0	41,175	23.8	106.7
その他	17,079	10.2	16,529	9.5	96.8
計	167,986	100.0	173,046	100.0	103.0

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他